

第 62 回

2015 年入学式における講演「建学の精神について」

仙台青葉学院短期大学は、「豊かな人間性を育てる教養教育」、「良好な人間関係を築く対人教育」、「地域社会に貢献し得る実学教育」という建学精神のもと、平成 21 年(2009 年)4 月に開学し、今年で 7 年目を迎えました。

建学の精神は、学校創立に際して学校の理念及び目的を明確にするために基本的には殆どの大学や短期大学にあるものです。それぞれの大学や短期大学にはそれぞれ建学に際しての学校の教育の在り方や卒業生の将来の社会貢献の目標などがありますが、それらを含めて建学の精神という言葉は広い意味をもっています。本学の三本柱の建学精神は、どれも将来にわたって希望に溢れる若者にとって大切なことですが、そのひとつである「良好な人間関係を築く対人教育」は、現代社会にあってはとくに欠くべからざる精神であります。

伝統ある立派な大学であればあるほど、大学の建学の精神は、充実した重みを感じます。

例をいくつか挙げてみます。慶応義塾大学には創立者福沢諭吉(1835-1901)が遺訓とした塾訓・目的があり、教育の基本を「独立自尊」におき、実学は現在でも大切にされています。大隈重信(1838-1922)による早稲田大学の建学の精神は「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就(ぞうじゅ)」です。

私が、中学と高校でお世話になった東北学院の建学の精神は、福音主義キリスト教の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育とされ、その教育方針の座右の銘は「生命(LIFE)と光(LIGHT)と愛(LOVE)」でした。

短期大学においても、4年制大学と同じように短期大学評価基準が4項目ありますが、そのひとつに「建学の精神と教育効果」があります。

仙台青葉学院短期大学は、開学 2 年目の平成 22 年の年度末に近い平成 23 年(2011 年)3 月 11 日、東日本大震災に遭遇し、被害を蒙りましたが、震災直後から教職員や学生が一体となって修学環境の修復に努めました。そして、開学当初は看護学科、現在のビジネスキャリア学科の 2 学科でしたが、その後、学科が増加し、こども学科、リハビリテーション学科、歯科衛生学科、栄養学科が加わり、平成 27 年度の現在、6 学科の短期大学に成長しました。

本学は建学後 7 年目と、まだまだ発展途上にあることから、伝統校のように教職員や学生などを含んだ学校全体のイメージと建学の精神との一致をみるためには今後、時間と努力が必要なことは言うまでもありません。本学の三つの建学の精神について考えてみます。

「豊かな人間性」について考えてみたいと思います。

「人間性」を大辞林で引いてみると、人間性とは、「人間を人間たらしめる人間の本性」、「人間らしさ」のことであると書いてあります。「人間性」を英語で表現すると、ヒューマニテイ、コンディション、ザ ヒューマン コンディション (humanity, condition, the human condition) のことです。言い換えると「人間性」とは、人間の心理的な心の性質のことです。この言葉は、日常的にも使われていますが、もう少し突き詰めて行くと、これまでは主として、哲学や人文学などの文科系の言葉として表現されてきたといえます。

人間らしさという「人間性」の価値を表現するにはどうしたらよいか考えてみます。

評価する方法には、主観的な方法と客観的な方法があります。

主観的な方法は、これまでのいわば人文学や哲学などの分野の方法でしょう。

客観的な方法は、自然科学や社会学、心理学などで用いられる方法で、問題解決のために統計学的手法が入ることで問題を解決しようとする方法です。

英語でいうと、人間性とはヒューマニテイですが、それは人間性の主観的な意味をもち、コンディションは人間性の客観性のある意味です。

「豊かな人間性を育てる教養教育」の「豊か」の意味は、この言葉も広辞苑で引くと、いくつか項目があるなかで、「物が豊富で、心が満ち足りているさま」、「ものが内部に充ち、ふくらみの出ているさま」、などの項目が目につきます。

このようなことから考えを進めると、実際には「豊かな人間性」の「豊か」とは、愛情に満ちた、他人に対して区別しない、前向きな考えの、人に迷惑をかけない、自己中心でない、などの意味を持っていることが理解できます。

教養教育について考えてみます。

「教養」という言葉も確かな意味を理解するために再び辞書を引いてみると(講談社の日本語大辞典)、「教養とは、社会人として必要な広い文化的知識。ものの考え方の深さやたしなみ。そして、人間性を開発し、人間の素質や才能を育て高めて、全人的な発達・開花を実現させ、精神文化を理解できる能力。また、それを身につけること。」と書かれています。確かにそのように理解できますが、より簡潔にまとめてみたいと思います。

教養は、英語でいうと、カルチャー、エデュケーション、ソフィステイクーション(culture, education, sophistication)などともいうように多くの意味を含んでいると理解しておくといよいと思います。カルチャーは文化と訳せますが、語源からカルト(cult; 耕された)とウアー(ure; もの)が合わさって「精神の耕作」となり、文化すなわち精神文明となります。文化は、その土地、社会に人々の生活や習慣、考え方の総称を意味します。エデュケーション(education)は教育・知識であり、そしてソフィステイクーション(sophistication)とは、「洗練された考え」を意味します。

結局、教養とは、人間の精神の耕し、その結果得られた知識そのものではなく、理解が深まった知識のことです。たとえば、知識の源になるような文学書を読むとき、その内容を記憶するばかりではなく、内容を十分心にたたみこみながら、その中にある作者のこころを理解することでしょう。

自分自身のことを少し触れますと、私は、長い間、どちらかといえば本を読んだとき、記憶することだけに偏っていたのではないかと反省しています。そのため、近年では、本を読んで自分の心でよく理解することが大切だと思い、関心が湧いた書物は何回か読み直すようにしています。

私の最近の知識の理解を深めるために、経験したことに触れてみたいと思います。今年の冬休みの期間中、カエサル著で近山金次訳による岩波文庫の「ガリア戦記」という歴史の本を読みましたが、この書は数年前にいったんは読み終わっていました。「ガリア戦記」は、ジュリアス・シーザーともいわれているユリウス・カエサル(; 紀元前 100 年? ~ 紀元前 44 年)という歴史に名高いローマ軍の英雄が、紀元前 58 年 から紀元前 51 年に亘って率いたローマ軍の、現在のフランスである、ガリア地方への遠征の際の、戦争の状況や結果をローマ元老院に報告した記録です。カエサルは、貴族出身のローマの武将・政治家で、三頭政治と政争、ガリア戦争、ローマ内戦、北アフリカ・ヒスパニア戦役などを経て、終身独裁者となりましたが、紀元前 44 年元老院会議に出席の待機中に暗殺されました。その際「ブルータス、お前もか？」と叫んだというシェークスピアの戯曲のなかの台詞はよく知られています。そのようなことは、記憶にありましたが、その程度のこと以上に、カエサル自身のことや、率いる軍団の強さについてなど、もっとよく知り、理解したかったのです。

これまでお話した本学の三本柱の建学の精神のうちの一つ、「豊かな人間性を育てる教養教育」の理念は未来に継承されることが特に重要です。このことについて皆さん理解できたものと思います。

二つめの建学の精神「良好な人間関係を築く対人教育」についてお話します。

「人間は社会的な動物である」と言ったのは、古代ギリシャの哲学者で、自然科学研究にも多くの業績を残し、「万学の祖」と称されているアリストテレスです。アリストテレスは、ご承知の通りソクラテスやプラトンとともにヨーロッパ最大の哲学者のひとりです。

社会的動物は平和に発展を続けて生存していくためには、その集団のなかで個々が良好な関係を築いていかなければなりません。

ここでまず、日本に現在どのような社会的問題があるか思い出すままに考えてみます。

日本経済は、第二次世界大戦後の1947年から数年間のベビーブームの時期に生まれた団塊の世代の成長と並行するように高度経済成長を遂げましたが、90年代のバブル経済の崩壊とそれに続く不況は10年以上にわたって持続し、日本社会は厳しい冬の時代を経験しました。加えて、日本社会は、半世紀以上に亘る期間でグローバリゼーションという欧米化へ急速に移行しました。これらのことは、成長期にある人間の精神構造をも変化させていきました。生活様式の変革や物質文明の変化の進展とともに人々の精神構造にまで変化が及んだのです。

近年の日本は、急激な経済成長によって発展の一方では、人心が粗雑になり、荒廃の危険すら感じられるようになってきたように思われます。

わが国が現在直面している社会課題を思い出すままに挙げてみますと、少子・高齢化社会、情報氾濫社会、資源・エネルギー問題、教育問題、科学技術社会志向政策の優先、希薄な倫理観の増加傾向、などなど、社会的動物としての人間の存在が薄れてしまいそうな危険性をもっています。とくに価値観や倫理観の変化は、今後の共同体集団のなかでの生活を楽しむことを困難にしていくものと懸念されます。

「良好な人間関係を築く対人教育」がきわめて重要なことが理解できます。

本学では教養教育のなかに「家庭人・社会人教育」として、日本語リテラシー、外国語(英語)リテラシー(リテラシー:知識、能力)、論文の書き方を含む情報処理、人文科学入門、健康スポーツ科学、歴史と法(日本史、日本国憲法)、実践数学(基礎から応用)、芸術などの科目を皆さんのために設けて、学んでいただきます。

三つ目の建学の精神「地域社会に貢献し得る実学教育」についてお話します。

実学とはどのような学問でしょうか。

大辞林辞書で引いてみると、実学とは「理論より実用性・技術を重んじる学問。実際生活の役に立つ学問で、農学・工学・商学・医学など。」のことです。実学主義とは、「実用と実践を重んじ、日常生活に即した具体的・実地的な学習を中心とする立場で、日本では明治初期の福沢諭吉の思想にその典型が見られる。」と書かれています。ご承知のように福沢諭吉(1834-1901)は、慶応義塾の創始者であり、個人および国家の独立自尊、社会の実利・実益を尊重した思想家として知られています。

本学における教養教育としての実学においては、専門職前教育としての日本語リテラシー・外国語(英語リテラシー)、論文の書き方を含む情報処理、人文科学入門、歴史と法(日本史,日本国憲法)、実践数学(基礎から応用)、芸術、などの「良好な人間関係を築く対人教育」のところでも触れた内容と重複するものもありますが、それらに加えて、生活科学、社会科学、人間の発達などが加わります。さらに、心理学入門、医学・生物学入門、物理学入門などについて学んでもらいます。

仙台青葉学院短期大学で学び、所定の単位を修得し卒業用要件を満たすと、短期大学士の学位とともに、それぞれの学科履修と連動した資格を得ることができます。

看護学科では短期大学士(看護学)の学位と看護師国家試験の受験資格、ビジネスキャリア学科では短期大学士(ビジネスキャリア学)の学位と全国大学実務教育協会認定の「ビジネス実務士」の資格が得られます。リハビリテーション学科では、短期大学士(理学療法学)または短期大学士(作業療法学)の学位とともに、理学療法士または作業療法士の国家試験の受験資格が得られます。こども学科では、短期大学士(こども学)と教育課程の履修により、保育士資格・幼稚園教諭二種免許状・社会福祉主事任用資格が得られ、歯科衛生学科では、短期大学士(歯科衛生学)の学位とともに、歯科衛生士国家試験の受験資格が得られます。栄養学科で卒業要件を満たすと、短期大学士(栄養学)とともに栄養士の資格を取得できます。

三つ目の建学の精神「地域社会に貢献し得る実学教育」についても理解されたと思います。

この建学の精神が将来、次世代、次々世代、と着実に継承されることによって、社会貢献を目指す学校の質がより明確となって理想に近づくに違いないと考えます。

この精神を心に刻んで、目標としながら勉学した皆さんが、社会にでて活躍されることを心から望んでいます。

(本稿は 2015 年 4 月 2 日入学式における講演内容である)